第１表の１

５千麹小発第87号

令和６年３月11日

千代田区教育委員会　殿

千代田区立麹町小学校

校長　田村　砂弥香

令和６年度　教育課程について（届）

　このことについて、千代田区立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記の通りお届けします。

記

１　教育目標

（１）学校の教育目標

自他の大切な命を尊ぶ理念を理解し、豊かな心をもつ児童を育むことを目指す。そして、国際社会において、日本人としての教養と誇りをもち、生涯を通じて自ら学び、広く世に貢献しながら主体的に自己実現を図ることができるように、以下の教育目標を設定する。

〇 よく考える子

　　（・学ぶことが好き、楽しい　・学んだことを活用できる　・学び方を知っている 等）

〇 思いやりのある子・進んではたらく子

　　（・自他の命を尊重する ・相手の立場に立って考える ・自分にできることを考える 等）

〇 明るく元気な子

　　（・心身の健康を保つ　・健康のために生活を整える　・心身の不調に対処できる 等）

（２）学校の教育目標を達成するための基本方針

　　千代田区子育て・教育ビジョンの示す「子どもの健やかな育ちをまち全体で支援し、一人ひとりの可能性を最大限に伸ばす」という基本理念を踏まえ、以下の基本方針のもとに、学校・家庭・地域が連携し、豊かな関わりの中で児童一人一人が自らの可能性を伸ばす教育を展開する。

　　ア　次代を担う子どもたちに求められる学びを実現する学校

　　　①　変化の激しい時代において正解のない問いに向き合い、他者と協働して課題解決を図る力を養うため、教科等横断的な視点からカリキュラム・マネジメントを行い、探究的な学びを通して児童の思考力・判断力・表現力を育む。

② 「ちよだスマートスクール」を推進し、ＩＣＴ環境を活用して、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、児童を学びの主体とした学習を展開する。

③　誰一人取り残さず、基礎となる学力の定着を図るため、個に応じた指導・支援の充実を図るとともに、読書をはじめとした言語活動の充実を図る。

　　イ　多様な他者と認め合いながら、自他を大切にする豊かな心を育む学校

　　　①　児童が発達段階に応じて人権について理解し、人権感覚を養い、偏見や差別をもたずに他者と協働できるよう、教育活動全体を通じて人権教育を推進する。

　　　②　生命の尊さや他者への思いやり、公正・公平などの道徳的価値を理解し、周囲とよりよい関わりをもてるよう、他者との話合いを通して考えを深める道徳教育を推進する。

　　　③　「生徒指導提要」に示された発達支持的生徒指導に重点を置きつつ、情報モラル等の現代的課題を踏まえて規範意識を育む。

　　　④　児童理解に関する教職員の資質・能力の向上を図りながら、心理的安全性の高い学級経営を行い、児童が互いに認め合い、チャレンジを称賛し合う組織風土を醸成する。

　　ウ　グローバルな視野を身に付け、世界で活躍できる力を育む学校

　　①　発達段階に応じて外国語に親しみ、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうと

第１表の２

する態度を養うため、ＡＬＴを効果的に活用し、英語教育の充実を図る。

　　②　近隣の大使館等と連携して国際交流の充実を図り、異文化を理解し尊重する態度や、豊かな国際感覚を醸成する（学校2020レガシー⑤「豊かな国際感覚」）。

　　③　日本や千代田区に関する歴史や文化への理解を促進し、我が国の伝統文化や伝統芸能に親しみ、その魅力を発信する活動を推進する（学校2020レガシー④「日本人としての自覚と誇り」）。

　　エ　社会の一員として、主体的に貢献できる力を育む学校

　　　①　子どもたちが社会の一員として自分らしく生きていけるようにするために、社会に参画する意識、勤労観や職業観等を育むキャリア教育を推進する。

　　　②　持続可能な社会の創り手として活躍できる資質・能力を育むために、各教科等の学習内容と関連付けてＳＤＧｓへの理解を深め、主体的に貢献しようとする意識を醸成する。

　　オ　心身の健康を保持増進する力を育てる学校

　　　①　児童が運動に親しみ、楽しんで体を動かす習慣を身に付け体力を向上できるよう、体育的活動やコオーディネーショントレーニングを推進する（学校2020レガシー③「スポーツ志向」）。

　　　②　体育の授業や保健指導を通して、児童のヘルスリテラシーを高める健康教育を推進する。また、学校給食において食の安全を徹底するとともに、食育の充実を図る。

　　カ　一人一人の子どもに寄り添い、安全・安心を守る学校

　　　①　全ての教職員等が連携し、児童の特性に応じた指導・支援を行うとともに、保護者や関係諸機関との連携を図り、特別支援学校のセンター的機能も活用し、インクルーシブ教育の実現を目指していく。

②　安全教育を通じて、児童に危険を予測し回避する能力と、他者や社会の安全に貢献できる資質・能力を育成するとともに、保護者・地域と連携した防災体制を整える。

　　　③　いじめの未然防止・早期発見・早期対応に学校全体で取り組むとともに、学校いじめ防止基本方針を保護者や地域にも共有し、連携していじめ問題の解決を図る。

　　　④　不登校児童の状況を継続的に把握し、保護者や関係機関と連携して支援するとともに、教室に行きにくい児童が個別学習できるサポートルームを校内に整備し、学びの機会を保障する。

　　キ　地域とともに子どもを育み、成長を喜ぶ学校

　　　①　麹町幼稚園や近隣の保育園との交流を行うとともに、第１学年におけるスタートカリキュラムを充実させ、就学前教育との円滑な接続を図る。

　　　②　学校の取組をホームページ等で迅速に広報し、地域に発信する。

　　　③　地域学校協働活動コーディネーターと連携をとりながら、地域人材と協働して教育活動のさらなる充実を図る。

　　　④　学校評価を行い、地域・家庭の期待に応え、開かれた学校運営を進める。また、学校運営協議会において児童の現状や学校の課題について協議し、教育課程の改善・充実を図る。

　　ク　教職員のウェルビーイングを実現する学校

　　　①　教職員同士の心理的安全性が確保され、チームワークが機能する組織をつくるとともに、教職員の心身の健康とライフワークバランスを重視し、メリハリのある働き方を実現する。

　　　②　校務分掌組織を改編し、職層を生かして業務を組織的に進めるとともに、人材育成に役立てる。また、ＩＣＴを活用してペーパーレスと分掌業務の効率化を図る。

　　　③ 「体罰・暴言は指導の敗北」と認識して発達支持的な指導を心がけ、体罰や服務事故を根絶する。その実現に向けて、実践的な校内研修を年２回実施する。